

## 令和5年度 理科 授業改善推進プラン

大田区立志茂田中学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- どの学年も実験を中心とした授業を実施できた。
- タブレットを活用した小テストなどを頻繁に行うことで生徒の理解度を把握した。
- 理解度の弱い単元の復習の機会を増やした。
- 実験の準備、目的の確認、結果の整理、考察という流れを定着させた。

#### (2) 課題

- 日常生活と学習内容をつなげて科学的に思考することができていない生徒が多い。
- 実験結果のグラフ化や数式処理が課題である。
- 知識・理解の定着は少しずつ図れているが、それを生かして考察し、自らの言葉で表現することが課題である。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第1学年	目標値を下回った。 物質・エネルギー領域は 目標値を上回ったが、生 命・地球の領域において 課題が見られる。		
第2学年	目標値を上回った。 地球の分野において課 題が見られる。	目標値を上回った。 生命・地球の分野におい て課題が見られる。	
第3学年	目標値を下回った。エネ ルギー、生命、地球領域 では目標値に近い結果 だが、粒子の領域におい て課題が見られる。	目標値を上回った。 第2学年の学習内容「気 象分野」で課題が見られ る。	目標値を大きく上回っ た。 第1学年までの学習内 容がしっかり定着して いる。

(2) 分析 (観点別)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1学年	目標値を1.9ポイント下回った。 振り返りの機会を多くして、基礎・基本を身に付けていく。	目標値を1.4ポイント下回った。 実験結果のグラフ化や数式処理が課題である。	目標値を1.8ポイント下回った。 実験を基本とした授業計画を作成し、意欲・関心を高めていく。
第2学年	目標を5.4ポイント上回った。小テスト等で復習の機会を継続してつづけていく。授業の振り返りも行っていく。	目標値を5.2ポイント上回った。実験や観察での考察の指導を継続して行っていく。結果のグラフ化等が課題である。	目標値を4.6ポイント上回った。今後も興味を持って取り組めるよう、授業の改善に努めていく。
第3学年	目標値を1.0ポイント下回った。基礎・基本を身に付けるために、既習内容の復習をあらためて行う必要がある。	目標値を1.5ポイント下回った。数的な処理に課題があるため、計算問題演習や、基礎的な理解の深化に努めていく。	目標値を2.2ポイント下回った。興味をもって課題に取り組めるよう、授業改善に努めていく。

3 授業改善のポイント (観点別)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1学年	頻度高く小テストを行い、個別に力を伸ばせるよう取り組んでいく。	課題解決型の授業計画を適切な頻度で設定し、実験の計画や、結果の予想、結果の処理など適切に指導していく。	タブレットやデジタル教材を用いて、具体的に現象を捉え、考えられるように支援していく。また、学び合い活動などを充実していく。
第2学年	小テストやタブレットドリルなど、問題を解く機会を増やし、知識の定着を図る。授業の振り返りを行っていく。	デジタル教材を用いて現象の理解を深め、抽象的な内容を理解できるよう支援していく。	学習内容が、日常生活においてどの場面で使われ活用されているか、積極的に調べ学習等を行っていく。
第3学年	Foams を用いた小テストで知識の定着を図る。	デジタル教材を用いて、想像しにくい事物・現象を分かりやすく提示する。	既習事項を活用した更なる調べ学習を行う。また、タブレットを用いて達成率を自認させ、改善点を分かりやすく提示する。